

No.126
2013.7.30
(平成 25 年)

あつぎ

支部だより

あいかわ あつぎ あやせ えびな きよかわ ざま やまと

もくじ

- 1 ～ 3・・・全国安全週間県央地区推進大会
署からのお知らせ
- 4・・・新会員紹介
- 5・・・健康だより・逍遙
- 6・・・ディスカバリーあつぎ
支部からのお知らせ

発行：(公社)神奈川労務安全衛生協会厚木支部
編集：広報部会

E-mail : info@arkk-kanagawa.com
<http://www.arkk-kanagawa.com>

〒243-0014 厚木市旭町 2-2-26
TEL(046)228-6660

「高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害」 平成25年度 全国安全週間県央地区推進大会開催される

6月13日(木)小雨降る中、厚木市文化会館小ホールにおいて労働災害防止4団体共催、厚木市労働基準監督署後援のもと、全国安全週間県央地区推進大会が272名の参加を得て盛大に開催されました。

推進大会第一部では最初に労働災害により尊い命を落とされた方々に対して黙祷がささげられ、続いて陸運労災防止協会神奈川県支部厚木分会 浅生会長より開会の辞を頂き幕が上がりました。

次に主催者を代表して挨拶した見目支部長は「今年の政権交代以降アベノミクス効果により長引く景気低迷に希望の光が見えてきたように思えますが、雇用・労働条件においてはまだまだ厳しい状況で、企業の安全衛生への取り組み、労働者の安全衛生意識、職場環境における安全衛生推進にもさまざまな影響を及ぼすことになると思いますので、従来にも増して多様な課題への対応が必要になるでしょう。もちろんいかなる状況下であろうとも安全は最優先して確保しなければなりません。働く人達の安全・安心を守るため、私達に課せられた役割は従来以上必要になって来ることに、気を引き締めて取り組んでまいりたいと思います」と述べられました。

続いて厚木労働基準監督署 酒井署長より「今年のスローガンにもありますように、安全の原点は働く私達一人ひとりの心の中にあるのではないのでしょうか。その一つひとつの積み重ねが無災害を築く原動力になると思います。また厚木署管内で労働災害を平成29年までに15%減少させることを目標とした、第12次労働災害防止計画が立てられ、各労働災害防止団体

等の皆様と連携を持ち進めて行かなければなりません」と力強く述べられた後、厚木管内ハイヤータクシー安全協力会 福田会長より大会宣言が読み上げられ、盛大な拍手で採択されました。

次に厚木労働基準監督署 星野安全衛生課長より、安全週間実施要綱と近年における労働災害発生状況の変化等をグラフで紹介し「第12次労働災害防止計画の重点業種対策としても盛り込まれている第三次産業の小売業等における労働災害防止が必要である」と述べられ第一部が終了致しました。

第二部の特別公演一つ目は『東日本大震災に伴う緊急消防援助隊活動概要について』と題し、厚木消防本部 鈴木一二三様、内村隆様二人をお招きしお話し頂きました。震災直後の被災地へ向かう苦難の道や救護時の写真などを改めて見ると、自然の猛威と共に新たな防災の意識がいつそう高まったことでしょう。特に震災時の水の大切さは「飲用に適さない物は捨てないで手洗いなどに利用する」など実際に経験された方々の知恵は、私達にも十分活かされる話でした。

特別公演二つ目は、神奈川県厚木警察署 望月雅之様より『知ることにより防げ得るリスク』と題し講演して頂きました。内容は交通事故の「救護措置義務違反(ひ





あり、各企業の方々も社員教育に活かしたいと活発な意見も出されました。「救護措置義務違反（ひき逃げ）」

き逃げ）事例」です。ややもすると「ひき逃げ」の当事者に成りかねない事案で

の未然防止と言う観点から多くの場で紹介される事を会場の方々も切に願ったことでしょう。

最後に建設業労働災害防止協会神奈川支部厚木分会井上会長より閉会の辞を頂き無事大会が終了いたしました。

（AGCオートモーティブAMC(株) 小峯 雄二 記）

署からのお知らせ

第12次労働災害防止推進計画 神奈川労働局（平成25年5月）

現状と課題

- 平成24年（第11次防最終年・第12次防基準年）の被災者数
⇒ 死亡者数46人（対前年比8人減少）、死傷者数6,689人（対前年比96人（1.5%）増加）
- 増加傾向（又は、横ばい傾向）にある業種
⇒ 運輸交通業、小売業、社会福祉施設、飲食店、食料品製造業
- 平成24年の死亡災害のうち約半数は製造業と建設業で発生。
- 死亡災害では、「墜落・転落」「はさまれ・巻き込まれ」「交通事故」で約6割。
- 休業災害では、「墜落・転落」「転倒」「動作の反動・無理な動作（腰痛）」で約5割。
- 「50歳以上」の労働者が被災する割合が高い（死亡災害で5割以上、死傷災害で約4割）。
⇒ 特に、「小売業」、「社会福祉施設」において割合が高い。
- 「小売業」、「社会福祉施設」、「飲食店」、「食料品製造業」においては、「非正規雇用労働者」の就業率が高く、被災する割合も高い。
- 業務上疾病による死亡者のうち、1/3以上が「脳・心臓疾患」によるもの。
- 業務上疾病のうち「腰痛」の発生件数は「社会福祉施設」において増加傾向にある。

計画期間

- 平成25年度～29年度（5か年計画）

計画の全体目標

- 平成29年までに、神奈川県内の労働災害による死亡者数を15%以上減少（平成24年比）
- 平成29年までに、神奈川県内の労働災害による死傷者数を15%以上減少（同上）
【平成29年最終目標：死亡者数を39人以下、死傷者数を5,600人以下】

4つの重点施策

I 労働災害、業務上疾病発生状況の変化に合わせた対策の重点化

1 重点業種対策（抜粋）

(2) 陸上貨物運送事業対策

- 荷役作業の労働災害防止対策の普及・徹底、「トラックの荷役作業における安全対策ガイドライン」の周知・普及
- 墜落・転落災害の防止、腰痛予防対策を重点とした安全衛生教育の実施の指導
- 経営トップの理解促進、安全衛生管理体制の整備
- 関係防災団体等との連携による啓発・指導
- 荷主による取組の促進

(3) 食料品製造業対策

- 経営トップに対する働きかけ
- 安全管理体制の確立、安全衛生担当者の明確化と担当者に対する教育の実施を指導

署からのお知らせ

- ・ 食品加工用機械の災害防止対策の推進
- ・ 安全衛生教育の継続的实施
- ・ 労働者の意識改善
- ・ 災害発生を契機とした事業場に対する指導・啓発による安全管理水準の向上

(4) 製造業対策

- ・ リスクアセスメントの実施の促進等、管理体制の整備促進
- ・ 「はさまれ・巻き込まれ」災害の防止を重点に、機械設備の本質安全化等、災害防止対策の徹底
- ・ 労働者の意識改善
- ・ 中災防、関係災防団体等との連携による啓発・指導

2 健康確保・職業性疾病対策（抜粋）

(1) メンタルヘルス対策

- ・ 中小規模事業場の心の健康づくり計画の策定等の推進
- ・ 職場のストレス要因の把握及び職場の改善
- ・ 職場復帰支援の取組の推進
- ・ 事業場外資源の活用
- ・ 関係団体等との連携

(2) 過重労働による健康障害防止対策

- ・ 労働時間の適正な把握管理及び健康管理の徹底
- ・ 長時間労働者に対する医師による面接指導等の健康管理の徹底
- ・ 衛生委員会等における調査審議による健康管理の徹底

(3) 化学物質対策

- ・ 危険有害性の表示、安全データシート（SDS）の交付制度の普及促進
- ・ 危険有害性情報を活用したリスクアセスメントの実施推進
- ・ 作業環境管理の徹底及び改善

(4) 腰痛予防対策

- ・ 「職場における腰痛予防対策指針」の周知・徹底（社会福祉施設・小売業・陸上貨物運送事業を重点）
- ・ 作業方法の改善
- ・ 腰痛予防教育の徹底等

(5) 熱中症対策

- ・ 早期警戒及び適切な作業計画による予防対策の徹底
- ・ WBGT値（暑さ指数）の活用等による作業環境管理、作業管理の徹底
- ・ 健康管理等の徹底、及び早めの対処等による重症化の防止

(6) 粉じん障害防止対策

- ・ 「第8次粉じん障害防止総合対策」に基づく粉じん障害防止対策の徹底

II 行政、労働災害防止団体、業界団体等との連携・協働の強化

- ・ 関係行政機関、専門家、災害防止団体、業界団体、産業保健機関、との連携・協働

III 社会、企業、労働者の安全・健康に対する意識改革の促進

- ・ 経営トップに対する働きかけによる安全・健康意識の高揚
- ・ 不安全行動防止と危険感受性向上のためのキャンペーン活動
- ・ 地域・職域・学校との連携による国民全体の安全・健康意識の高揚

IV 発注者、製造者、施設等の管理者による取組の強化

- ・ 建設工事発注者に対する要請
- ・ 荷主による取組の促進
- ・ 機械設備の本質安全化の促進

詳しい内容（推進計画本文）については神奈川労働局ホームページ
(<http://kanagawa-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>) をご参照ください。

新会員のご紹介

当支部には様々な業種の事業所が加入されており、それぞれ特色ある企業活動をされています。
そして、平成25年度定期総会でご紹介いたしましたとおり、昨年は8事業所に入会いただきました。
今回はその中から4事業所をご紹介します。

AGCオートモーティブAMC 株式会社 相模工場

- * 事業内容 国内自動車メーカーに自動車用窓ガラス（特にガラスとその外周の樹脂モールを一体成型した窓ガラス）を提供している会社です。
- * 事業所の特色 「物を大切に！」を経営理念として、1989年5月に設立されました。お客様に安心してご使用して頂ける窓ガラスを提供できるよう安全第一をベースに日々品質改善を続けています。

泰朋鉄工 株式会社

- * 事業内容 製造請負作業及び人材派遣事業
- * 事業所の特色 1985年発足以来、一貫して顧客満足第一を心がけております。
「安全・品質・環境・法令順守」この4つを徹底し社会貢献に繋がる事業を行い「事業は社会の公器である」という原点に立って、あらゆる業種へ挑戦する積極的経営を推進し発展的で豊かな人間性を創造するようたゆまない努力を続けております。

株式会社 ジェイ・ビー・ケー・サービス

- * 事業内容 二事業部で活動している会社です。
1. JBE事業部：各種試作・実験治具等の設計／製作／改造業務
2. SV事業部：自動車部品工業（株）殿の生産
支援・福利厚生・営繕業務
- * 事業所の特色 設計・試作のプロ集団である「JBE」と身体障害者・高齢者を中心とする「SV」がうまく連携し、2007年11月以降、無災害を続けています。
全員参加のKYT、HHK（ヒヤリハットキガカリ）対策の即実施等が効果をあげています。

お客様の目線で「ものづくり」に取り組んでいます
Endeavouring Always with customers in mind



設計、工程計画、管理
Drawing, Production Plan & Control



加工、組み立て、検査
Machining, Assembly, Inspection



株式会社 北欧トーキョー 本社・神奈川工場

- * 事業内容 小田急グループの一員としてベーカリーチェーン「HOKUO」を展開、自社工場で作ったパンを販売しています。
- * 事業所の特色 本社併設の神奈川工場で「安全・安心・健康・美味」をキーワードに選び抜いた素材を、従業員がパン生地の手入れから焼き上げまで心をこめて約100種類手作りしています。「安全なパンは安全な職場から」ということで、作業の安全にも十分気をつけて毎日パン作りを行っています。



写真) 本社・神奈川工場
「安全衛生委員会」の皆さん



「むずむず脚症候群」知っていますか？

日立オートモティブシステムズ(株)
保健師 木原 宏美

夜寝ている間に膝から下がむずむずするような不快感が起き、動き出したくてたまらなくなった経験はありませんか。

面白い名前ですが、これは正式な病名です。日本には約130万人の人が悩まされていると推測されています。

診断ポイントは以下；

①脚に不快感や違和感があり、じっとしていられず脚を動かしたくなる

②安静にしている時に起こる又は悪化する

③歩いたり脚を動かすと改善する

④日中より夕方や夜間に強くなる

いかがでしたか？

原因は、鉄不足による貧血や慢性腎不全、初期の糖尿病、抗うつ薬の副作用等による中枢神経に係ると考えられています。不快感による不眠で日常生活に支障を感じている方は、睡眠専門医や神経内科医に相談してみてはいかがでしょうか。



『私とシャリィ』

株式会社 東洋製作所
保木 浩章

私とシャリィとの出会い・・・といっても外国の女性でもペットでもありません。そうです「ホンダ・シャリィ」ミニバイクなのです。

私の移動手段は主に自転車で、通勤や買物に利用していましたが、ある日、インターネットオークションを閲覧していると、シャリィCF70が出品されているではありませんか。それも地元のバイク店です。早速、手付金を支払い、教習所に通い詰め、小型バイクの免許を取得し、平成22年8月に購入をしました。

現在は通勤や買物、週末のツーリングと青春時代にできなかった経験をこの年齢（53歳）で満喫しています。

シャリィCF70の年式は1981年製で、30年以上経っており、電気系統の不安を除けば、エンジンの調子もよく、燃費も1リッターあたり40～50kmは走ります。

シャリィCF70の走り方として、スピードは期待できませんので、ゆっくりと散策ツーリングを楽しみ、気が付くと自転車のロードレーサーに追い抜かれることもたびたび、でも気にすることはなく山に往けば森林浴を海に往けば潮の香りを感じながら幸福感が

いっぱいです。なにぶん、古い年式のバイクを購入したので、部品の供給に期待ができないので、あと何年この幸せを満喫することができるかと自問自答の毎日です。



購入当初1ヶ月目で、右下り坂で転倒し、肋骨にヒビが入るけがをしましたが「でも、いいーんです。シャリィCF70が大好きなんです」シャリィCF70はシャリィCF50と違い、今では大変希少価値があります。又、50ccの原動機付自転車とは違い、法定最高速度60km/h走行や二段階右折もなく、高速道路と自動車専用道路こそ走行はできませんが、私には、十分な相棒です。

是非、機会があればシャリィのオーナー方達との交流、個人的には東北や北海道をゆっくりと温泉ツーリングをしたいのですが、年式も古いので無理かな・・・



あつぎ大道芸の祭典を楽しむ

厚木市は、新宿からも小田急線で直結された、いわゆる「ベットタウン」としての大きな街で、市街地も広く、その至る所に人が集う公園が点在しています。



それらの公園の中心にあるのが、「厚木中央公園」であり、市民が参画して、それらの公園を活用したイベントも、年間を通じてあれこれ行われています。

その代表格のお祭りとして、「あつぎ国際大道芸」があります。昨年は11月10日（土）・11日（日）に開催されました。最近、街の活性化のために「よさこい」などのイベントを核とする街が多く見られますが、「大道芸人」を一堂に集める所も、少しずつ増えつつあります。横浜や名古屋、静岡や大分などでも力を入れていますが、厚木市は有力な芸人を集結させて、多くの人々が一体となって

楽しむ雰囲気が熟成されていると強く感じ取ることが出来ます。

今年も11月9（土）・10日（日）に「あつぎ国際大道芸2013」の開催がありますが、何よりも厚木市では、本厚木駅北口広場で「あつ芸人」と題したパフォーマンスが毎月第3土曜日に行われているのをご存知でしょうか。

芸人の方々の熱いパフォーマンスをまじかで観ることが出来ますので、見物された皆さんの驚きと笑顔、子供達の楽しそうな様子に、きっと心が和むこと間違いなしです。

厚木には、駅周辺に格安で、グレードの高いビジネスホテルが数多く点在しており、遠方からでも、泊りがけでアーバンツーリズムを呼び込むことが出来る材料が揃っています。市民と芸人が中心となって街を元気にするイベント「あつぎ大道芸」の輪を、これからも広げて欲しいと願っています。

（日新工業㈱ 人見 久夫 記）



支部からのお知らせ

◎支部夏季休暇のお知らせ 8月12日（月）～8月16日（金）まで
・8月19日（月）より通常業務

今後の支部行事予定

9月12日（木） 全国衛生週間県央地区推進大会
9月26日（木） 届出手続き講習会
10月 4日（金） 労働衛生研修会
10月24日（木）・25日（金） 職長安全衛生教育講習会